

## アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	苫小牧市アイヌ施策推進事業
2 事業の種類	(文化振興事業) (地域・産業振興事業)
3 事業の目的	地域に存するアイヌ文化を発信し、アイヌ民族の歴史や文化に対する市民の理解を深めるとともに、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、アイヌの人々が誇りを持って生活し、その誇りが尊重される地域社会の実現。
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業</p> <p>①アイヌ文化伝承事業</p> <p>○事業実施主体 苫小牧市</p> <p>○事業の実施場所 苫小牧市生活館</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和6年3月31日</p> <p>○事業の内容と考え方 アイヌ民族の伝承技術等を学ぶ講習会（刺繍・木彫等）を開催し、アイヌ文化の伝承と普及に努める。また、多くの市民がアイヌ文化を体験し、制作した作品を苫小牧市内で展示することで、アイヌ文化に対する市民の理解を深める。</p> <p>○各種講習会参加予定人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刺繍講習会…72人（36人*2回）</li> <li>・木彫講習会…30人（30人*1回）</li> <li>・料理講習会…15人（15人*1回）</li> <li>・伝統工芸講習会…30人（30人*1回）</li> <li>・ムックリ講習会…15人（15人*1回）</li> </ul> <p>②アイヌ紋様入り限定ユニフォーム着用（仮称）「TOMAKOMAI×AINU スペシャルマッチ」開催事業</p> <p>○事業実施主体 苫小牧市</p> <p>○事業の実施場所 苫小牧市白鳥王子アイスアリーナ、市内イベント会場等</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和6年3月31日</p> <p>○事業の内容と考え方 苫小牧市を本拠地とするアイスホッケーチームとアイヌ文化をコラボレーション</p>

	<p>させ、より多くの市民にアイヌ文化に触れる機会を創出し、アイヌ文化に対する市民の理解を深める。</p> <p>(2) 地域・産業振興事業 アイヌ文化関連の観光プロモーション事業</p> <p>○事業実施主体 苫小牧市</p> <p>○事業の実施場所 苫小牧市美術博物館等</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和6年3月31日</p> <p>○事業の内容と考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道指定文化財「アイヌの丸木舟及び推進具」の解説に多言語（英語・中国語）解説機能を追加するなど、アイヌ文化や歴史に関する幅広い理解の促進に繋げる。</li> <li>・講師を招聘し、美術博物館においてアイヌの歴史講座を1回開催し、アイヌの歴史や文化に対する市民の理解を深める。</li> </ul>
<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業</p> <p>■アイヌ文化伝承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ民族の伝承技術等を学ぶ刺繍や木彫等の各種講習会を開催し、アイヌ文化の伝承と普及に努めるとともに、アイヌ文化に対する市民の理解を深める。</li> </ul> <p>■アイヌ紋様入り限定ユニフォーム着用（仮称）「TOMAKOMAI×AINU スペシャルマッチ」開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苫小牧市を本拠地とするアイスホッケーチームとアイヌ文化のコラボレーションとして、アイヌ紋様を取り入れた限定ユニフォームを作製し、プロスポーツチームが着用する事で話題の喚起を図るとともに、より多くの市民にアイヌ文化に触れる機会を創出し、アイヌ文化に対する市民の理解を深める。</li> </ul> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■アイヌ文化関連の観光プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術博物館常設展示室「アイヌの暮らし」コーナーに、音声ガイド付きデジタル画面解説機器を導入し、アイヌ文化をより分かりやすく発信する。</li> <li>・美術博物館においてアイヌ歴史講座を開催し、アイヌの歴史や文化に対する市民の理解を深める。</li> </ul>
<p>6 事業の成果目標等</p>	
<p>(1) 成果目標の達成に向けた</p>	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>■アイヌ文化伝承事業</p>

<p>工程</p>	<p>地域の人々がアイヌ文化を体験することによって、アイヌ文化に対する市民の理解が深まり、講習会の参加人数が増えるほど効果が高まると考えられる。</p> <p>■アイヌ紋様入り限定ユニフォーム着用（仮称）「TOMAKOMAI×AINU スペシャルマッチ」開催事業</p> <p>地域の人々がアイヌ紋様に「触れて・着て・見る」機会を創出することによって、アイヌ文化に対する市民の理解が深まり、市内イベントや着用試合への来場をきっかけにその後のアイヌ文化への関心を高める効果があると考えられる。</p> <p>(2)観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■アイヌ文化関連の観光プロモーション事業</p> <p>美術博物館のアイヌ関連展示室を整備することで、より分かりやすい形で発信することができ、かつ、本市への誘客促進につながり、美術博物館の入館者数が増えるほど効果が高まると考えられる。</p>
<p>(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)</p>	<p>(1)文化振興事業</p> <p>ア 講習会参加者数</p> <p>(現状値)平成30年度 延べ106人/年間 (中間目標)令和4年度 延べ162人/年間 (最終目標)令和6年度 延べ162人/年間 成果目標は、達成する見込み。</p> <p>イ (仮称)「TOMAKOMAI×AINU スペシャルマッチ」来場者数</p> <p>(現状値)実績値なし (最終目標)令和5年度 2,000人 成果目標は、達成する見込み。</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>美術博物館入館者数</p> <p>(現状値)平成30年度 延べ34,262人/年間 (中間目標)令和4年度 延べ36,300人/年間 (最終目標)令和6年度 延べ36,500人/年間 成果目標は、達成する見込み。</p>
<p>(3)成果目標の確認方法</p>	<p>KPIである講習会参加者数、(仮称)「TOMAKOMAI×AINU スペシャルマッチ」来場者数、美術博物館入館者数について、実績値を公表する。また、行政評価システム等により目標の達成状況について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。</p>

7 地域の概要	
(1) 地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	<p>苫小牧市には、昭和 51 年に苫小牧アイヌ協会（旧社団法人北海道ウタリ協会 苫小牧支部）が設立され、その後、平成 2 年に生活館が開館し、苫小牧アイヌ協会をはじめとしたアイヌ関連団体及び個人が生活館を拠点に、アイヌ文化の復興や伝承に向け、各種アイヌ講座や伝統儀式を開催するなど、日々アイヌ文化の発信を行っている。</p> <p>また、苫小牧市美術博物館において、北海道指定有形文化財であるアイヌ丸木舟をはじめとしたアイヌ関連資料の展示や、アイヌの文化や歴史を学ぶ講座を開催するなど、苫小牧市ではアイヌの歴史や文化を学ぶ機会の充実が図られており、アイヌ文化に対する市民の関心は高まりつつある。</p> <p>一方で、苫小牧市には様々な要因により永続したコタンが残されなかったため、土着文化の継承がなく、また、アイヌ関連団体の高齢化などによるアイヌ文化の担い手不足により、次世代へのアイヌ文化の円滑な継承が課題となっている。</p> <p>民族共生象徴空間の開設に伴い、アイヌ文化に対する市民の関心はより一層高まることが予想されることから、市民がアイヌ文化に触れる機会をさらに増加させるとともに、今まで以上にアイヌ文化の普及啓発に努め、アイヌの人々が誇りを持って生活することができる環境を整備する必要がある。</p>
(2) 施設等の管理運営体制	<p>苫小牧市生活館及び美術博物館は、苫小牧市が管理している。</p>
(3) アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	<p>市内アイヌ関係団体と、定期的に意見交換を行っている。</p>

## 8 収支予算

## (1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額	前年度予算額 (減額修正後)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	8,624,000	1,644,800	6,979,200	0
都道府県負担額	0	0	0	0
市町村負担額	2,156,000	411,200	1,744,800	0
参加者負担額	0	0	0	0
計	10,780,000	2,056,000	8,724,000	0

## (2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額	前年度予算額 (減額修正後)	比 較 増 減	
			増	減
文化振興事業	9,795,000	1,027,000	8,768,000	0
文化振興事業費	9,765,000	997,000	8,768,000	0
委託料	8,107,000	0	8,107,000	0
報償費	860,000	625,000	235,000	0
需用費	345,000	254,000	91,000	0
旅費	453,000	118,000	335,000	0
市町村事務費	30,000	30,000	0	0
需用費	30,000	30,000	0	0
地域・産業振興事業	985,000	1,029,000	0	△ 44,000
地域・産業振興事業費	985,000	1,021,000	0	△ 36,000
委託料	878,000	996,000	0	△ 118,000
報償費	30,000	10,000	20,000	0
旅費	77,000	15,000	62,000	0
市町村事務費	0	8,000	0	△ 8,000
旅費	0	8,000	0	△ 8,000
コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0
コミュニティ活動支援事業費	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
合 計	10,780,000	2,056,000	8,724,000	0
委託料	8,985,000	996,000	7,989,000	0
報償費	890,000	635,000	255,000	0
需用費	375,000	284,000	91,000	0
旅費	530,000	141,000	389,000	0
工事請負費	0	0	0	0